

平成 30 年度事業報告書
平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 エヌ・ピー・オー福祉用具ネット

1 事業の成果

本 NPO は、主に 開発支援と研修事業の大きな二つの柱で事業を進めています。

開発支援の一つである『ものづくり』支援は、福岡県福祉機器開発支援事業を受託し、県内企業への支援を中心に行いました。県外の会員企業支援も多く、相談は 88 件にも及んでいます。

研修事業では、「抱え上げない介護をあたりまえのケアに」することを目指した計画を実行しました。特に、抱え上げない介護を推進するために、地域のリーダーの育成を重点的に取り組みました。9 月に第一回技術認定チェックを行い、31 年度早々の 4 月 28 日・29 日には 2 回目の認定チェックを予定しています。そのために、約 30 回の技術認定対策講座を開催してきました。

現在では、福岡だけでなく、佐賀県、大分県、熊本県等の団体とも連携を密にして、具体的には抱え上げない介護推進プロジェクトチームと連携しながら活動を進めています。

(1) 福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業

① 福岡県委託事業（2 年度継続）成果

- a) 前年度では、病院・施設のニーズ調査を、書面アンケート、および訪問ヒアリングの 2 方式で行い、その結果を福祉用具研究会や理事で構成する評価会議において「調査結果」を「55 テーマ」に絞り、福岡県が管理運営する「ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク」で概要を公開しました。

本年度は、本事業の 2 年目。本年度の課題は参入に意欲的な県内企業を探して、この 55 テーマとのマッチングを促し、開発を具体的に支援することでありました。

- b) 「ニーズ発表会」を 3 回に分けて（福岡市 2 回、北九州市の 2 会場）開催し、合計 82（社・人）の参加者に、厳選した 12 テーマごとに企画、マーケティング、商品構想、必要技術、知的財産などを紹介しました。

また企業への個別訪問によるマッチングも含め、最終的には 13 企業、15 テーマの開発が進められました。開発にあたり、直接面談支援 56 回、メール・電話支援などのその他の支援を繰り返し行いました

2 年度を終り、すでに販売開始したテーマは 2 件、販売開始時期が明らかになったテーマは 7 件、販売取扱先を求めているテーマが 1 件、合計 10 件の成果が得られました。

今後は、これら新規参入企業をテコに、県内企業による福祉・介護機器産業の発展を促すための、支援を続けます。

② 会員企業及び県外企業の支援

本法人の「ものづくり支援センター」では、「会員企業」のものづくり相談を優先的に取り上げました。

また、県外企業からの相談も近年増加傾向にあり、県内企業との連携を奨めることで、支援内容の充実を目指しています。

特に、会員企業では、医療機器の開発支援を求める声に応じて、薬機法対応、リスクマネジメントなどの支援を行いました。

③ 第20回西日本国際福祉機器展が11月15日から3日間開催されましたが、会員企業等13の企業や団体が連携して出展しました。特に今年度の企画展示としての特徴は、排せつケアと抱え上げない介護に関わる福祉機器を主と致しました。

会場では、排せつケア用品の紹介 おむつをはじめ、自動排泄処理装置に至るまでの展示を行いました。さらに、体圧測定体験・ポジショニング・移乗技術体験、ボードやシート、リフト体験・介護ベッドの使い方を専門職に伝えることをテーマとしました。3日間で延べ20,069人の来場者がありました。

④ また、20年間共同開催している「福祉用具研究会」と連携して、企業の開発商品について相談を受けました。現場の専門職で構成する研究会会員が相談を受ける形式で県内外の企業3社の商品や企画について検証しました。「研究会」に延べ182人が参加しました。

さらに、昨年度の施設の福祉機器ニーズ調査に基づいた福祉機器情報の勉強会を開催しました。

(2) 生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業

研修会事業は、①抱え上げない介護に関する研修会20回、②キネステティクス体験会及びコースの研修会11回、③メンタルヘルス研修会3回、④おむつフイッター研修会、⑤西日本国際福祉機器展ブースセミナー抱え上げない介護技術10テーマと排泄ケアに関するもの2テーマ、キネステ体験会5回を開催しました。

さらに、学生を対象に、優しい介護技術の研修を実施しました。その内、出前講座として7回開催。

各研修会のアンケート結果からは、満足度の高い評価を多くいただきました。

特筆すべきことは、平成29年10月に抱え上げない介護をあたりまえのケアにするための「九州プロジェクトチーム」の発足です。その後、抱え上げない介護の技術研修をほぼ毎月開催してきました。

抱え上げない介護に必要な基礎技術の習得とその技術を職場や地域に正しく伝えるためのプレゼンテーション力を審査する「技術認定チェック」を9月に開催しました。

その目標のために技術研修会は15日間開催。

その結果、20人の合格者が各々の職場や地域で活動することが出来るようになったので、現在、合格者たちは地域の核として活動しています。そして、さらに指導力を高めるために、毎月の勉強会にタスク(グループ指導者)として参加し、益々、技術力向上に努めているところです。

来年度の2019年4月28日と29日には、第2回目の技術認定チェックを開催することになっています。

また、今年度は、「排せつ総合研究所むつき庵」との共催で「おむつフィッター3級研修会」を開催し、77名の受講者全員が修了試験に合格をしました。

化粧に関しては、5年前から全国的に展開している高齢者への化粧支援として、(一社)「日本介護美容セラピスト協会」と連携し、ビューティタッチセラピストの養成事業も順調に継続中です。これまでに育成したセラピストは全国で1,560人にもなり、今年度も、424名が認定を受けました。

(3) 安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくりに関する事業

本NPOの主催した研修事業でも、トイレや浴室に関する住環境整備の重要性も盛り込んだ内容にしたり、福祉用具の配置と住環境に関する相談にも数件対応しました。

(4) 情報誌及び出版物の発行など会員や市民との文化交流事業

情報誌『ささえ』は、計画通りに年4回発行を継続できました。これまで通算66号まで発行できました。

詳細は以下の通りです。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費金額(円)
1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業	■ 電話・面接による事例相談	随時	事務局	常勤1名 他3名	介護・医療・福祉専門職や要介護者とその家族など多数	8,020,142
	■ 福岡県からの業務委託事業による福岡	随時	福岡県内	常勤1名 他専門職数人	福岡県福祉機器開発参入企業 ニーズの提案55テーマ	

県内の 企業支援					開発提案実施 15 テーマ マッチング テーマ 8 企業支援 面談 56 件
■ホームペー ジや展示会、 情報誌によ る福祉用具 の情報提供	随時	事務局	常勤1名 他3名	介護・医療・福祉 専門職や要介護者 とその家族など多 数	
■開発に関す る相談 県外企業 (ものづくり 支援センター 事業)	随時	各企業や 事務局	常勤1名 他3名	企業開発者 県外企業8社	
■開発協力品 の販路拡大支 援	随時	全国	常勤1名 他3名	開発者など企業 関係者若干名 及び介護現場 の専門職や ユーザー多数	
■福祉用具の 展示・試作品 発表	11/15 11/16 11/17 三島光産 ニシキ 住友理工	北九州市 西日本国 際福祉機 器展	常勤1名 含む 40名	福祉用具利用者 及び 開発者多数	
■開発品の検 証などの受託 事業	随時	福岡県	常勤1名 含む10名	開発企業関係者 若干名	

	<p>■福祉用具研究会 9回シリーズ 開発相談 福岡県立大学 福祉用具研究会との共催</p>	<p>4月から 12月まで 9回 実施</p>	<p>田川市</p>	<p>常勤1名 含む30名</p>	<p>企業開発者 及び医療介護福祉 に関わる専門職 延べ、参加者 約182名</p>	
	<p>■福祉用具 ニーズ発表会</p>	<p>6月23日 8月28日 11月15日</p>	<p>福岡市 2回 北九州市 1回</p>	<p>常勤1名 含む5名</p>	<p>企業開発者 介護職 原則県内企業 福岡市 2か所 約100名 北九州市 40名</p>	
<p>(2)生活の 質の向上に 向けた相 談・調査・ 啓発・研修 などの事業</p>	<p>■西日本国際 福祉機器展ブ ースセミナー 1日4つのセミ ナー。3日間で 合計12のテー マを開催</p>	<p>11/15 11/16 11/17</p>	<p>北九州市</p>	<p>常勤1名 他20名</p>	<p>介護・医療・福祉・ など専門職や在宅 介護者など479名 が受講</p>	<p>3,899,990</p>
	<p>■西日本国際 福祉機器展キ ネスティック ス体験講座 合計5回開催</p>	<p>11/15 11/16 11/17</p>	<p>北九州市</p>	<p>常勤1名 他2名</p>	<p>介護・医療の専門 職など24名受講</p>	
	<p>■西日本国際 福祉機器展 排泄ケア用品 紹介 とノーリフテ ィングケア のための 福祉機器 の展示 企業13社</p>	<p>11/15 11/16 11/17</p>	<p>北九州 市</p>	<p>常勤1名 20名</p>	<p>介護・医療・福祉・ など専門職や在宅 介護者多数 3日間来場者数 20,069人</p>	

■ビューティ タッチセラ ピスト育成 事業の支援	随時	全国	常勤1名 他5名	高齢者多数 医療介護福祉従事 者多数 年間424名 これまでの総数 1,560名
■キネステ 体験講座	5/19. 7/7	田川市	常勤1名 含む4名	介護・医療・ 福祉など 専門職や介護者 合計38名
■キネステ ベーシック コース 3日間	1/26.27 2/9	田川市	常勤1名 含む3名	介護・医療・ 福祉等の専門職 合計22名 内訳 アドバンス6名 ベーシック16名
■アドバンス コース 3日間	1/26.27 2/9			
■メンタル ヘルスケア 研修	6/16	田川市	常勤1名 含む2名	介護・医療・ 福祉専門職10名 ミニ勉強会は9名 が参加
メンタルヘルス ミニ勉強会 2回開催	9/29 2/16			
■抱え上げな い介護技術 研修会 15日一部 16日二部 16日16時～ ・17日 三部	9/15. 9/16 9/17	田川市	常勤1名 含む10名	介護・医療・ 福祉専門職等 一部 204名 二部 67名 三部 33名
■抱え上げ ない介護技術 研修 前半の部	4月29日 5月27日 6月24日 7月29日	田川市	常勤1名 含む10名	介護・医療・ 福祉専門職等 毎回 認定対象者30名

	6回開催 30名受講	8月25日 8月26日			指導者10名	
	後半の認定に 向けた 2回目認定 対策勉強会 10月から3月 合計9日間 実施	10月21日 11月11日 12月24日 1月13日 2月7日 2月17日 3月10日 3月24日 3月31日			認定対象者21名 タスク18名 指導者3名	
	チェッカー 見習い研修 2日間実施	3月9日 3月30日				
	■おむつ フイッター 3級 2日間 むつき庵との 共催	9/7 9/8	田川市	常勤1名 含む10名	介護・医療・ 福祉専門職等 多数 77名	
	■出前講座 キネステ 体験会 合計7回開催	5月30日 久留米 1回 12月6日 大分2回 1月12日 佐賀2回 3月17日 熊本2回	九州地域	常勤1名 含む3名	医療介護福祉専門 職多数 合計7回開催 延べ130名受講	
	■人に優しい 介助技術講座 福岡県立大	3月2日 3コマ 10時	福岡県立 大学	常勤1名 含む2名	福岡県立大学学生 30名受講	

	援助力養成 プログラム	30分から 16時				
(3)安全な 生活に向け たバリアフ リー化に関 する相談・ 調査・啓 発・研修な どの福祉の まちづくり に関する事 業	■バリアフリー に関する 事例相談	随時 メール	筑豊 地域	常勤1名 含む3名	福祉・介護 建築関係者など 若干名	181,473
(4)情報誌 および出版 物の発行な ど会員や市 民との文 化交流事業	■情報誌 【ささえ】の 定期的 な発行および ホームページ による情報 公開	年に4回 63号 64号 65号 66号 発行	事務局	常勤1名 含む20名	介護・医療・ 福祉専門職や 不特定多数 毎回500部印刷	332,678

(2) 収益事業
該当なし